

「木津川市都市計画マスタープラン後期計画（案）」に係るパブリックコメント実施結果
 (提出意見及び市の考え)

1 公表期間 平成27年12月3日から平成28年1月7日まで

2 計画（案）に対する意見の提出結果 4団体（25件）

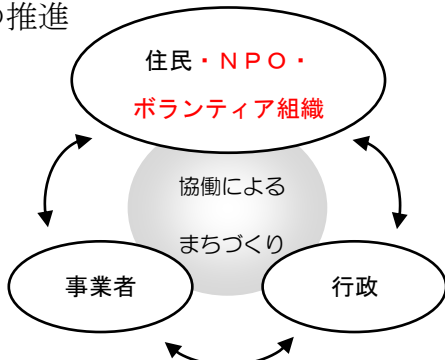
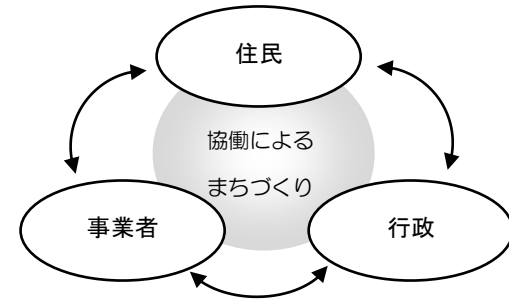
3 提出された意見及び市の考え

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映												
1	意見	11	重要有形文化財の表について、漏れがないか確認すべき。	担当課へ確認の結果、国指定の重要有形文化財は記載内容が全てですが、精査の結果、一部修正を行いました。	11	○重要有形文化財 <table border="1"> <tr> <td>五輪塔</td> <td>木津川市加茂町西小長尾 (長尾共同墓地)</td> </tr> <tr> <td>小林家住宅</td> <td>木津川市山城町上狛東林 1-1</td> </tr> <tr> <td>十三重塔</td> <td>木津川市加茂町辻三田2 5番地の1 (千日墓地)</td> </tr> </table>	五輪塔	木津川市加茂町西小長尾 (長尾共同墓地)	小林家住宅	木津川市山城町上狛東林 1-1	十三重塔	木津川市加茂町辻三田2 5番地の1 (千日墓地)	○重要有形文化財 <table border="1"> <tr> <td>五輪塔</td> <td>木津川市加茂町西小長尾 (西小墓地)</td> </tr> <tr> <td>小林家住宅 主屋</td> <td>木津川市山城町上狛東林 1</td> </tr> <tr> <td>十三重塔</td> <td>木津川市加茂町辻三田第 25番地の1辻墓地(千日 墓地)</td> </tr> </table>	五輪塔	木津川市加茂町西小長尾 (西小墓地)	小林家住宅 主屋	木津川市山城町上狛東林 1	十三重塔	木津川市加茂町辻三田第 25番地の1辻墓地(千日 墓地)	○
五輪塔	木津川市加茂町西小長尾 (長尾共同墓地)																			
小林家住宅	木津川市山城町上狛東林 1-1																			
十三重塔	木津川市加茂町辻三田2 5番地の1 (千日墓地)																			
五輪塔	木津川市加茂町西小長尾 (西小墓地)																			
小林家住宅 主屋	木津川市山城町上狛東林 1																			
十三重塔	木津川市加茂町辻三田第 25番地の1辻墓地(千日 墓地)																			

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映
2	意見	12,13	③人口・世帯数の推移 1) 人口・世帯数の推移 出典について京都府推計人口は最新のデータに更新すべき。	意見を踏まえ、京都府推計人口及び住民基本台帳のデータを最新のものに更新しました。	12,13	③人口・世帯数の推移 1) 人口・世帯数の推移 また、京都府推計人口によると、平成27年9月1日現在の木津川市の人口は73,179人、世帯数は27,109世帯、1世帯あたり人員は2.70人となっています。 出典：国勢調査（平成2年～平成22年）、京都府推計人口（平成27年9月1日現在） 2) 年齢別人口 出典：国勢調査（昭和60年～平成22年）、住民基本台帳（平成27年12月末現在） 3) 地域別人口 出典：国勢調査（平成2年～平成17年）、住民基本台帳・外国人登録（平成22年）、住民基本台帳（平成27年12月末現在）	③人口・世帯数の推移 1) 人口・世帯数の推移 また、京都府推計人口によると、平成27年12月1日現在の木津川市の人口は72,856人、世帯数は26,922世帯、1世帯あたり人員は2.71人となっています。 出典：国勢調査（平成2年～平成22年）、京都府推計人口（平成27年6月1日現在） 2) 年齢別人口 出典：国勢調査（昭和60年～平成22年） 3) 地域別人口 出典：国勢調査（平成2年～平成17年）、住民基本台帳・外国人登録（平成22年、平成27年6月末現在）	○
3	意見	27	「相楽都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」は現在改訂作業中である、最新の状態にすべき。	意見を踏まえ、最新の状態に更新しました。	27	②相楽都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成28年1月 京都府策定中）	②相楽都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成27年9月現在京都府策定）	○
4	意見	28	「関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画」は平成28年1月に一部変更を実施しており、反映すべき。	意見を踏まえ、平成28年1月の一部変更を反映しました。	28	③ 関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画（昭和63年3月 京都府策定、平成4年1月、平成18年3月、平成20年8月、平成25年5月、平成28年1月一部変更）（以下「学研都市建設計画」という。）	③ 関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画（昭和63年3月 京都府策定、平成4年1月、平成18年3月、平成20年8月、平成25年5月、平成27年一部変更）（以下「学研都市建設計画」という。）	○

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映
5	意見	38,41, 56,96, 106, 107, 109	宇治木津線について、国において、事業化に向け調査を行っており、記述について調整すべき。	意見を踏まえ、国及び京都府との調整の結果、宇治木津線について記述を追加しました。	38	③交流軸 ・市域外との交流を図る「広域交流軸」として、鉄道機関や主要幹線道路である京奈和自動車道、国道24号、国道163号及び宇治木津線を位置付け、全国との広域的な連携を図るとともに、市域外の関西文化学術研究都市の各クラスターとの連携を図ります。	③交流軸 ・市域外との交流を図る「広域交流軸」として、鉄道機関や主要幹線道路である京奈和自動車道、国道24号、国道163号を位置付け、全国との広域的な連携を図るとともに、市域外の関西文化学術研究都市の各クラスターとの連携を図ります。	○
6	意見	42	人口フレーム、目標人口、人口目標等記述を統一すべき。	意見を踏まえ、修正しました。	42	予測人口と将来人口（グラフ） 平成32年における人口フレーム 将来目標人口	予測人口と将来人口（グラフ） 平成32年の人口目標 将来人口目標	○
7	意見	59	都市計画道路一覧の表について、合計値を72,590に修正すべき。	意見を踏まえ、修正しました。	59	【参考 都市計画道路一覧】 合計 72,590	【参考 都市計画道路一覧】 合計 73,090	○
8	意見	76	2) 田園景観の形成 『日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」』の景観計画区域（案）との整合について確認すべき。	意見を踏まえ、「2) 田園景観の形成」と「3) 歴史的景観形成」において、『日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」』について記述を追加しました。	76	2) 田園景観の形成 また柿畑や日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」の景観計画区域である茶畑など个性的な農地景観についても保全を図ります。 3) 歴史的景観の形成 上狛環濠集落や日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」の文化的景観である上狛茶問屋街、旧街道の伝統的なまち並みについて、	2) 田園景観の形成 また柿畑や斜面地の茶畑など个性的な農地景観についても保全を図ります。 3) 歴史的景観の形成 上狛環濠集落や上狛茶問屋街、旧街道の伝統的なまち並みについて、	○

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映
9	意見	79,80, 82,99, 100	宇治木津線の新設促進に伴い、宇治木津線の新設が予定される付近に不動川公園が位置するため、不動川公園を山城南部エリアを包括するような広域的な防災拠点として検討すべき。	意見を踏まえ、国及び京都府との調整の結果、「不動川公園を広域的防災拠点として整備検討」を<取り組み>に追加しました。	79,80	②都市防災の方針 1) 治水・治山対策の推進 宇治木津線の新設促進に伴い、広域的な防災拠点の整備を検討します。 <主な取り組み> ・不動川公園を広域的防災拠点として整備検討	②都市防災の方針 1) 治水・治山対策の推進 <主な取り組み>	○
10	意見	93	3) 都市・自然環境及び歴史的資源の方針のア) について、98 ページの3) 都市・自然環境及び歴史的資源の方針のア) と体裁を整合すべき。	意見を踏まえ、修正しました。	93	3) 都市・自然環境及び歴史的資源の方針 ア) 自然環境、歴史的文化遺産の保全活用 対象 当尾エリア、瓶原エリア	3) 都市・自然環境及び歴史的資源の方針 ア) 当尾エリアや瓶原エリアの自然環境、歴史的文化遺産を活かした散策ルートの整備	○
11	意見	61,69, 97,98, 100	「国道24号拡幅整備促進」について、山城地域でも現在、事業進行中であり、地域別構想（山城地域）においても記述すべき。	意見を踏まえ、国との調整の結果、地域別構想（山城地域）にも、「国道24号拡幅整備促進」を<取り組み>に追加しました。	97,98	2) 交通施設の方針 ア) 幹線道路等の整備 木津地域や宇治市方面への広域連携軸となる宇治木津線道路の新設促進など、地域内外の道路ネットワークの強化を図るとともに、国道24号の拡幅や歩道の確保等による安全性の確保を図ります。 <主な取り組み> ・国道24号拡幅整備促進	2) 交通施設の方針 ア) 幹線道路等の整備 木津地域や宇治市方面への広域連携軸となる宇治木津線道路の新設促進など、地域内外の道路ネットワークの強化を図ります。 <主な取り組み>	○
12	意見	107	市民自主管理事業は、州見台、梅美台だけでなく、城山台でも実施しているため、城山台についても記述すべき。	意見を踏まえ、「州見台、梅美台においては」を「地区内の」に修正しました。	107	ア) 公園・緑地の整備・維持管理 地区内の公園・緑地の適切な維持管理を進め、防災性の向上やバリアフリー化など利用者のニーズに対応した施設の充実を図るとともに、自主管理活動交付金制度により、市民参加による維持管理を進めています。	ア) 公園・緑地の整備・維持管理 州見台、梅美台においては公園・緑地の適切な維持管理を進め、防災性の向上やバリアフリー化など利用者のニーズに対応した施設の充実を図るとともに、自主管理活動交付金制度により、市民参加による維持管理を進めています。	○

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映								
13	意見	104, 109, 114	図について、「センターゾーン」や「文化学術研究ゾーン」の場所を示した図がないため、注意書きすべき。	意見を踏まえ、ゾーンの位置が分かるように方針図に表記しました。	109	関西文化学術研究都市（州見台・梅美台・城山台）の方針図 図に明記	関西文化学術研究都市（州見台・梅美台・城山台）方針図	○								
14	意見	109	図について、東中央線（木津川架橋）は整備予定にすべき。	意見を踏まえ、修正しました。	109	図 木津川架橋：整備予定	図 木津川架橋：整備済	○								
15	意見	119	1. 住民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進 P.120 の文章にはNPOやボランティア組織の記述があるので、図に反映すべき。	意見をふまえ、図に反映しました。	119	1. 住民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進 	1. 住民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進 	○								
16	提案	42	人口フレームはそのままがいいのか。「木津川市まち・ひと・しごと創生『人口ビジョン』『総合戦略』との整合を確認すべき。 各々の計画で出典データが異なるのは分かるが、市民はそれで納得しない。総合計画やまち・ひと・しごと創生の数値も参考に掲載してはどうか。	複数の計画の人口目標を掲載する事によって、都市計画マスタープランとしての目標が分かりにくくなる恐れがあるため、現状のままとします。	42	<table border="1" data-bbox="1528 1428 2018 1585"> <tr> <td>平成32年（2020年）における人口フレーム</td> <td>7万5千人</td> </tr> <tr> <td>将来目標人口</td> <td>10万人</td> </tr> </table>	平成32年（2020年）における人口フレーム	7万5千人	将来目標人口	10万人	<table border="1" data-bbox="2122 1428 2611 1585"> <tr> <td>平成32年（2020年）における人口フレーム</td> <td>7万5千人</td> </tr> <tr> <td>将来目標人口</td> <td>10万人</td> </tr> </table>	平成32年（2020年）における人口フレーム	7万5千人	将来目標人口	10万人	—
平成32年（2020年）における人口フレーム	7万5千人															
将来目標人口	10万人															
平成32年（2020年）における人口フレーム	7万5千人															
将来目標人口	10万人															

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映
17	提案	45,56, 98,100	【関連する主な施策・事業等】 変更前は「上狛城陽線椿井バイパス」と明記されていたのだから、変更後においても「上狛城陽線」について箇所を明記してはどうか。	不動川隧道付近が大きな工事となるが、上狛城陽線改良部分の一部でしかなく、それ以外の大部分には「椿井バイパス」のような名称はないため、「上狛城陽線の改良整備促進」のままとします。	45	【関連する主な施策・事業等】 ・主要地方道上狛城陽線の改良整備促進	【関連する主な施策・事業等】 ・主要地方道上狛城陽線の改良整備促進	—
18	提案	46	①自然と歴史的文化遺産の保全と観光面での有効活用 文化財基本計画には遺跡、社寺について詳細を明記しており、記述してはどうか。	P.46 については、遺跡、社寺全般を指しているため、そのままとします。なお、P.67,68,76,98,117 等に必要に応じて詳細を記述しています。	46	①自然と歴史的文化遺産の保全と観光面での有効活用 木津川や山々の緑、遺跡、社寺など木津川市固有の財産である自然や歴史的文化遺産を保全するとともに、散策路の整備、テーマごとの散策ルートの設定などハード・ソフト両面から観光的な整備等による有効活用を進めます。	①自然と歴史的文化遺産の保全と観光面での有効活用 木津川や山々の緑、遺跡、社寺など木津川市固有の財産である自然や歴史的文化遺産を保全するとともに、散策路の整備、テーマごとの散策ルートの設定などハード・ソフト両面から観光的な整備等による有効活用を進めます。	—
19	質問	86	イ) 木津駅東側地区のまちづくりの検討 木津駅東側の地区の土地利用の検討について、都市計画審議会での意見を確認したい。	第18回木津川市都市計画審議会でも意見があり、小川の内水対策等の問題があり、現状としては、難しい状況であることを説明しました。	86	<主な取り組み> ・木津駅東側地区の計画的な市街地形成に向けた検討 ・木津駅前東線沿道の土地利用の検討	<主な取り組み> ・木津駅東側地区の計画的な市街地形成に向けた検討 ・木津駅前東線沿道の土地利用の検討	—
20	質問	105	(5) 関西文化学術研究都市(州見台、梅美台、城山台) ①地域の概況 城山台の計画人口が1.1万人から1.0万人に修正されているが、これは全体に影響するのではないか。	上位計画である関西文化学術研究都市(京都府域)の建設に関する計画の改訂によるものであり、P.42の人口フレームにも加味しています。	105	①地域の概況 城山台は、JR木津駅東側市街化調整区域の東側に位置する246ha、計画人口1.0万人の地区で、平成27年1月末に、特定土地区画整理事業の換地処分が完了しており、今後、住宅や研究施設、商業施設等の立地が進展する地区です。	①地域の概況 城山台は、JR木津駅東側市街化調整区域の東側に位置する246ha、計画人口1.0万人の地区で、平成27年1月末に、特定土地区画整理事業の換地処分が完了しており、今後、住宅や研究施設、商業施設等の立地が進展する地区です。	—

No.	種別	ページ	提出意見	市の考え	ページ (例)	変更後	変更前	反映
21	要望	119	P119 に記述のとおり、住民、事業者、行政の連携が必要であり、特に住民の協力が必要である。ニュータウンにはコミュニケーション広場が集会所しかない。住民が集まる場所を確保してもらいたい。	P.119,120 に記載のとおり、まちづくりに対する市民の意識啓発、情報の提供、担い手づくりを進めていきます。	119, 120	① まちづくりに対する市民の意識啓発 ② まちづくりに関わる情報の提供 ③ まちづくり活動の担い手づくり	① まちづくりに対する市民の意識啓発 ② まちづくりに関わる情報の提供 ③ まちづくり活動の担い手づくり	—
22	質問	—	コンパクトシティについて、市はどのように考えているか。	コンパクトシティを考える立地適正化計画については、総合計画の高度化版であり、策定の際に内容について検討していくことになると思います。	—	—	—	—
23	提案	—	市長の所信表明である。フードバレー構想などを掲載すべき。計画の中に盛り込めないのであれば、付属資料としてつけてはどうか。	フードバレー構想については、現在、構想の段階であり、今回の見直しでは記述を見送ります。	—	—	—	—
24	質問	—	リニア新幹線の誘致促進を記述すべきである。リニア新幹線について、京都府と協議をしたのか。	京都府と直接協議はしておりません。現在、JR東海の発表では奈良市付近としておりますが、京都府及び京都市において、京都市内での誘致を行っている背景から現段階で記述することは見送ります。	—	—	—	—
25	提案	—	公共施設のスクラップ&ビルドについて記述してはどうか。	現在検討を進めております。	—	—	—	—